

消化器・肝臓センター



NEW - す NO. 23



2017.5

膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) ってどんな病気？

膵管内乳頭粘液性腫瘍 (Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm : IPMN)

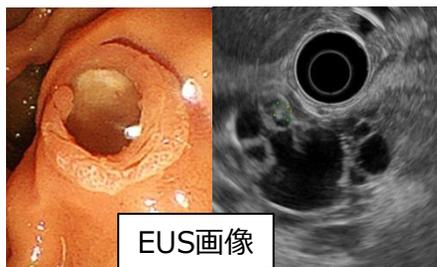
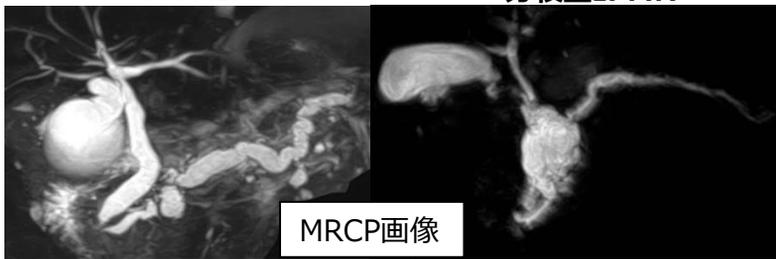
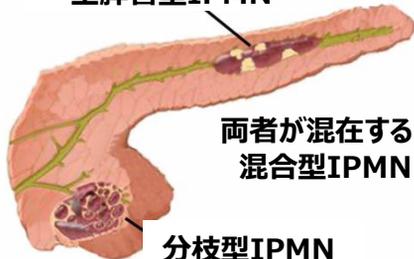
膵腫瘍の一種で、膵管（膵臓の中にある膵液の流れる管）の中に、乳頭状（こぶ状）に増殖する膵腫瘍でゼリー状の粘液を産生し嚢胞（液体の貯留した袋状の腫瘍）を作る疾患です。無症状のことがほとんどで検診での発見が重要な疾患です。多くは良性腫瘍で一生涯にわたって症状が現れない方もいますが、長期の経過を経て膵癌を発症したり、膵炎になったりする方もいるので、専門施設で診察を受ける必要のある病気です。いわゆる典型的な膵癌（膵管癌）とは異なり、良性から悪性までさまざまな段階で見つかります。

IPMNは3つに分類されます。主膵管の中に腫瘍ができて、全体的あるいは部分的に拡張する「**主膵管IPMN**」とブドウの房状に多房性の嚢胞の形を呈する「**分枝型IPMN**」および両者が混在する「**混合型IPMN**」があります。悪性あるいは悪性を強く疑う場合は手術により摘出します。当院では腹腔鏡下膵切除も含め様々な機能温存・縮小手術が実施可能です。進行した場合は通常の膵癌と同様に予後不良となりますので早期診断と適切な治療が肝要です。当院では外科と消化器内科が密に連携し消化器肝臓センターを開設しており、CT/MRCPなどで経過観察をして、悪性化が疑われる場合は超音波内視鏡（EUS）や逆行性膵胆管造影（ERCP）といった特殊な内視鏡検査を行って早期診断・治療に努めています。膵臓に嚢胞があるといわれた方はお気軽にご相談ください。

主膵管型IPMN

主膵管型IPMN

分枝型IPMN



(外科 主任部長 金 鏞国)

外科に新しいスタッフの先生が加わりました



4月より外科に赴任致しました畑 知樹と申します。
肝胆膵疾患を中心に安全かつより良い医療を提供できるように尽力致します。宜しくお願い致します。

市立貝塚病院

TEL : 072-422-5865

